

メッツ川崎ヘルパーステーション 令和6年度自己評価・外部評価 評価表

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント	
				実施状況						
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない			
Ⅰ 構造評価(Structure) [適切な事業運営]										
(1) 理念の明確化										
①	サービスの特徴を踏 まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「利用者 等の在宅生活の継続」と「心身の機 能の維持回復」を実現するため、事 業所独自の理念を掲げている	6	14			法人の理念とともに年度初め に事業所研修にて事業所目 標、理念の周知を行っている。 理念、年間目標に沿った事業 所運営を行っている。	・理念について全職員に周知が進み良い。 ・理念に沿った運営のおかげで今年も「満 足な日々」を過ごさせていただきありがたく 感じている。 ・各項目において、毎年の評価と改善の成 果として「できている」「ほぼできている」の 数が増え素晴らしい。 ・研修実施で理念を理解するように事業所 として取り組んでいると思う。年度を通じ理 解を確認する機会が大事だと思う。	
(2) 適正な人材の育成										
①	専門技術の向上のた めの取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの 特徴および事業所の理念につい て、その内容を十分に認識している	4	15	1		管理者は経営・業務計画の作 成で法人理念に沿った目標を 作成し、職員へ向けて年度初 めに周知、認識に努めている。	・職員全員の理解も概ね進み継続してほし い。 ・温かく適切に対応してくださっている。 ・理念の理解、認識のための取り組みが行 われていると思う。	
		3	運営者は、専門技術(アセスメント、 随時対応時のオペレーターの判断 能力など)の向上のため、職員を育 成するための具体的な仕組みの構 築や、法人内外の研修を受ける機 会等を確保している	8	12			年度初めに「目標管理シート」 にて個人目標を設定し半期ご との個別面談で進捗状況の確 認を行う。研修は法人・事業所 内で行い全員が勤務時間内で 受講できるようリモートでのオン ライン研修やグループワークが できるようICTを活用工夫して いる。	・研修もICT化でき参加しやすくなっている のでしょうか？ ・ICTを活用しながら職員の資質向上に取り 組んでいる。 ・事業所の研修が充実していると思う。多職 種の専門的な研修の実施でチーム連携強 化やサービスの質の向上に努めていると思 います。(昨年度の運営推進会議で合同部 会研修会について説明より)	

メッツ川崎ヘルパーステーション 令和6年度自己評価・外部評価 評価表

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
Ⅰ 構造評価(Structure)〔適切な事業運営〕									
(2) 適正な人材の育成									
①	専門技術の向上のための取り組み	4	管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が最大限に発揮され、能力開発が促されるよう配慮している	5	15			目標管理シートを活用した個人面談や、職種別の技術確認シートを活用している。 個々の適性に合った業務分担やルート組を行っている。	・自己評価からも多くの職員が自分に合った業務ができていると感じた。 ・当事業所も研修シートを活用しています。面談で職員のやる気や得手不得手を確認し適正に合った業務配置がされていると思います。
②	介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている	5	15	1		ICTと書面を適切に活用し情報共有を行う。 また、1日3回のミーティングにて情報共有し随時対応している。 事業所会議内で更なる共有と意見のすり合わせを行う。	・1日3回のミーティングで情報の取りこぼしがないよう努めていると思う。 ・1日3回もミーティングを行うことは素晴らしいと思う。そんな中で「更なる共有」とは具体的にどういった物を共有するのか。 ・情報共有ツールの活用や日々のミーティングの実施で、介護、看護の連携が図られていると思う。相談や報告がしやすい環境が良い関係構築に大切だと思います。
①	組織マネジメントの取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置(業務・シフトの工夫)を行っている	4	16			職員体制と利用者の稼働状況に応じた勤務シフトの変更を行った。 職員の能力と利用者の状況に応じた適材適所の配置ができるようルートの更新をしている。	・昨年に比べ自己評価が改善されており、的確な対応がうかがえる。 ・同じヘルパーが同じ利用者の訪問が続かないよう気を配っているが、そういった工夫はされていますか。 ・昨年度より自己評価が上がっています。この項目について今年度行った改善の取り組みの結果が、良い評価につながったかと思われます。
②	介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等(サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等)を、サービスの提供等に適切に反映させている	12	8			推進会議でいただいた意見を資料と議事録で職員へ周知している。職員からも意見をもらい業務改善の取り組みに反映し、サービスの質の向上につなげられるよう努めている。	・職員が意見を出しやすい環境が整備されていると思う。 ・推進会議の資料が的確で運営方針がよく分かる。会議の運営や説明も丁寧で良いと思う。 ・推進会議で得た意見を元に業務改善の取り組みがされていると思う。 ・推進会議で出た意見や要望などに対応したことなどがあれば、推進会議で報告していただきたいと思います。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
I 構造評価(Structure)〔適切な事業運営〕									
(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備									
①	利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備	8	利用者等の状況について、(個人情報管理に配慮した上で)必要に応じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている	8	12			利用者の状態変化について都度関係各所へ報告している。 職種間で連携し必要な関係者へ報告し報告漏れのないようにしている。	・情報の取りこぼしがないよう努めている。 ・各月の様子を画像を添えて情報発信してもらい、事業所の温かい空気が伝わってくる。 ・具体的にどのような方法で情報共有を行い、報告漏れがないようにしているのか教えてください。 ・職員が共有している情報ツールがあると聞いている。他事業所に連絡するICTがあると更に情報がタイムロスなく共有できると思います。
(5) 安全管理の徹底									
①	職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている(交通安全、夜間訪問時の防犯対策、災害時対応等)	5	14	1		BCPの作成と法人内研修により災害、感染症などの緊急時の対策が講じられるよう努めている。 交通安全や有事の際の連絡手段など職員への周知が行き届くように定期的な研修等が必要であるとする。	・非常時の訓練等はしているのか。 ・職員の安全を第一にしたい。 ・BCPの更新や定期的な訓練は大切ですが継続の難しさを感じます。何か工夫されていることはありますか？ ・外出時の職員の安全を守る対策(防犯対策)の整備は大事だと思います。
②	利用者等の個人情報の保護	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられているとともに、管理者や職員において共有されている	15	5			個人情報は鍵が掛かる書庫で保管。 個人情報の管理についても定期的な職員研修での周知が必要である。 職員間の口頭での個人情報の取扱いに注意が必要。	・個人情報を取り扱う機会の多い職業だと思う。継続した周知をお願いしたい。 ・個人情報の管理には注意が必要です。職員間でも共通理解して行っていきたいと思う。 ・個人情報は徹底して管理されていると思います。職員が常に取り扱いの重要性について認識することが大事であり、定期的な研修等の実施は有効だと思います。

メッツ川崎ヘルパーステーション 令和6年度自己評価・外部評価 評価表

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
Ⅱ 過程評価(Process)									
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供									
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成									
①	利用者等の24 時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	11	利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている	8	12			利用者の日々変化する状態に対応するため、ミーティングとカンファレンスで共有。アセスメントにつなげ、手順書の適宜変更に努めている。	・手順書の適宜変更について担当者がいるのか？ ・十分にできていると感じる。 ・推進会議へ出席した時に一人一人の生活を見ながらアセスメントされていると思いました。 ・適宜適切に行うことが継続されており、自己評価結果に表れていると思います。
		12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている	12	8			一体型の利点で、介護・看護間で細かな情報共有を行いアセスメントを実施。看護からは必要に応じて主治医から助言をもらい介護へ情報の共有を行う。	・医療との連携で根拠を持ったケアができるのは、介護職も心強いと思う。 ・十分にできていると感じる。 ・一体型ならではの医療とつながりやすく助言を受け支援に反映されていると思いました。 ・介護、看護の連携と医療との連携で、利用者の状況に合わせたアセスメントの実施に努めていると思います。
②	利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	13	利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている	7	13			事業所が利用者の一歩の理解者である。日々の状態変化について家族や関係各所へ報告、相談し計画の作成を行っている。	・サービス事業所は場合によって一番利用者と接する時間が長くなると思うので信頼関係を大切にしていきたい。 ・事業所は利用者の意見をくみ取り意向を確認していくことは大切な役割です。介護サービスとして俯瞰して利用者の生活を見ていくことが大切なのではと考えます。 ・事業所の対応が利用者、家族の安心につながっていると思います。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント	
				実施状況						
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない			
Ⅱ 過程評価(Process)										
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供										
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成										
②	利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	14	重度化しても医療依存度を高め過ぎないよう、利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている	4	15	1		自立支援の視点と重度化した際の視点を持って計画の作成が必要と考えるが難しい。 利用者の意欲、生活スタイル、身体状況に着眼し事業所だけではなく関係各所の意見も取り入れた計画の作成が大事になると考えている。	・複数の専門職の意見を取り入れた計画作成ができると良いと思います。 ・各立場が見る支援の必要性の度合いに温度差が出ないよう基準の策定が必要でしょうか。 ・本人の思いを尊重して進めてもらっている ・利用者の変化を予測していくには日頃の様子だけでなく今後起こり得る変化を見ていくというかなり難しいこととなります。担当者会議の議題に載せていくことが必要なのではないかと思いました。 ・先を見越したリスクを考え介護、看護や他の関係者など多方面からの意見や気付きの情報共有、連携体制があることがとても重要と考えます。	
(2) 利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し										
①	計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回・随時対応サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている	9	11			日々のミーティング、カンファレンスの中で多職種の意見を持ち寄り検討している。 利用者の状態、随時対応の回数などにより定期訪問の見直しや追加提供を検討している。	・状態に合わせた対応をしているのが評価に表れていると思う。 ・柔軟な対応が行われていると思う。 ・定期巡回随時対応型訪問介護看護のサービス特徴を活かした対応の継続をお願いします。	
②	継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている	7	13			毎月のモニタリングで利用者の状況をケアマネへ報告している。提出前に内容をチェックし、職員にアドバイスすることでモニタリング力を見る相手がわかりやすい内容となるよう継続している。モニタリングを作成して終わりではなく個々の内容を職員が周知する取り組みを行う必要がある。	・モニタリングチェックがあると職員のステップアップにつながり良いと思う。 ・毎月のモニタリングは誰が行っていますか？ ・モニタリング内容を共有する取り組みを行ってほしいと思います。 ・モニタリングの研修を職員全員で取り組んだことを、昨年の推進会議で聞きました。提出前のアドバイスなどモニタリング力を高める指導で適切に状態確認ができるよう努めていると思う。	

メッツ川崎ヘルパーステーション 令和6年度自己評価・外部評価 評価表

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント	
				実施状況						
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない			
Ⅱ 過程評価(Process)										
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供										
(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供										
①	介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を生かした役割分担が行われている	8	12			一体型の利点で、介護・看護間で細かな情報共有を行うなど連携強化に努めている。 看護からは必要に応じて主治医から助言をもらい介護へ情報の共有を行う。	・一体型の強みが生かされていると思う ・必要に応じて義歯管理や口腔ケアの介助等のサービス提供ができています。 ・介護、看護が専門性をもって連携が図られていると思います。	
②	看護職によるサービス提供に関する指導、助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている	8	12			一体型の利点を活かし、日々のミーティング、会議での報告について、看護の視点から指示や助言がなされている。 チームで動いているという意識を持たせることが難しい。	・チーム意識の難しさはどのような点か？ ・医療への助言をすぐに受けられることは心強いと思います。看護介護の枠を超えて利用者の生活を支えることを目標として欲しいと思います。	
(4) 利用者等との情報及び意識の共有										
①	利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている	3	17			契約時、サービス開始時に本人、家族、ケアマネに説明、共有している。利用者、関係者に適宜説明している。 在宅生活の継続、心身機能の維持回復、重度化予防につながる意識付けにつなげられると思っている。	・説明時に意識している点があれば教えてください。 ・利用者や家族が理解しやすい方法で説明することが必要だと思います。職員全員がサービスの特徴を理解し、同じ法を向いて支援をしていく事も重要だと思います。	

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない		
Ⅱ 過程評価(Process)									
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供									
(4) 利用者等との情報及び意識の共有									
②	利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている	6	14			計画書について利用者にはわかりやすく説明し理解してもらったうえで同意の署名をいただいている。 利用者の理解力により家族等へ利用者への説明や協力をいただいている。	・評価から概ね理解を得ていると思う。 ・利用者が理解するよう対応していると思います。
		21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている	5	15			状況の変化についてご家族へ報告するとともに、ケアマネや関係者へ報告するようにしている。	・対応の継続を願う。
(1) 共同ケアマネジメントの実践									
①	利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている	6	14			利用者の心身状況の変化、生活状況の変化について共有し、サービス提供の変更について相談し、合意したうえで変更、決定している。 その為にも、細かな変化もケアマネと共有できるよう報告に努めている。	・対応の継続を願う。 ・本人の願いや困り感を定期的に聞いて対応してもらいたい。 ・利用者の状態変化に応じてヘルパー側からサービス担当者会議で提案等を行われると良いと思います。 ・積極的に共同ケアマネジメントが行われていると思います。
		23	計画の目標達成のために、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案(地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む)が行われている	1	17	2		地域サービスについて情報収集することが必要であると考え、が行き届かない部分もある。 利用者の状況を報告する中でケアマネからの提案があるとありがたいと思う。	・どのような地域サービスがあると良いと思うか？ ・包括支援センターへ相談してみると良いかもしれません。 ・できていないと思う課題について取り組みが行われると良いと思います。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント	
				実施状況						
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない			
Ⅱ 過程評価(Process)										
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント										
(1) 共同ケアマネジメントの実践										
②	定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている	7	13			担当者会議の場で利用者の状況や目標の達成状況を共有できるよう、モニタリングの内容や直近の状況の聞き取りを行っている。 会議内容や変更点を多職種で共有できるよう発信している。	・多職種との連携を意識的に行っていると感じる。 ・担当者会議で利用者の様子を伝えたと家族やケアマネの知らない部分が見えてくることがあるので些細なことでも計画に反映されると利用者の生活の質になるなら意見を発信してほしいと思います。	
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献										
①	利用者の在宅生活の継続に必要な、利用者等に対する包括的なサポートについての、多職種による検討	25	利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート(保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む)について、必要に応じて多職種による検討が行われている(※任意評価項目)	1	17	2		利用者の在宅生活の継続に必要な保険外サービスなどを必要時に提案している。 ケアマネなど多職種からの助言がもらえるとありがたいと思う。	・利用者の友人や近隣住民等のつながりができるとインフォーマルケアの活用につながってくるのではないのでしょうか。	
		26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている(※任意評価項目)	7	13			入院中、入居中に相談員や退院支援看護師から情報を確認している。 退院、退所前には病院や施設へ訪問し情報と実際の利用者の状況に差異がないか確認し内容を関係各所と共有するようにしている。	・実際に訪問し状態を確認することは大切だと思う。 ・退院カンファレンスにて退院後に利用者の生活が安心して送れるように行われていると思う。	

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント	
				実施状況						
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない			
Ⅱ 過程評価(Process)										
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント										
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献										
②	多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要となる、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている(※任意評価項目)	5	13	2		在宅生活の継続のためサービス担当者会議の場で共有している。 多職種や地域との連携体制も必要と考える。	・多職種や地域との連携が取れると良いと思う。 ・多職種で皆が何でも話せる環境づくりが大切と思われる。 ・地域との連携は今後の課題である。	
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画										
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案										
①	介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている	7	12	1		会議に用いた書類、議事録は内容を職員へ周知したうえで閲覧できる場所に置いている。会議の内容だけでなく、会議が行われる意義の理解の為、年度初めの研修で説明している	・推進会議や外部評価の意義の理解は難しいと思います。毎年勉強会を根気よくすることが大切かと思う。 ・推進会議について職員の会議の参加や資料の閲覧、研修などを実施し、情報発信に努めていると思う。	
		29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている	2	17	1		ケアマネや病院のMSW向けに見学会を行い、実際のプランなどを説明し定期随時の理解を深めてもらうよう努めている。そのうえで担当利用者への広報をお願いしている。	・広報を行った反響はどの程度ありましたか？ ・地域への周知と病院、支援センターへの周知では情報発信しても受け止め方が違うと思います。それぞれ受け手のニーズに沿った広報の仕方の工夫が必要だと感じている。 ・見学会で説明するなど広報活動に努めていると思う。	

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント	
				実施状況						
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない			
Ⅱ 過程評価(Process)										
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画										
(2) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画										
①	行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している	1	16	3		社内での「地域包括ケアシステムについて」の研修内で行政の方針や計画内容について説明している。 職員の理解度は十分でないと感じている。	・社外研究の機会はあるか？ ・行政の方針が理解しにくい文言になっていないかかみ砕いた説明が必要と感じる。 ・介護事業計画は理解が難しいです。 ・説明の機会を設け理解できるよう取り組んでいると思う。地域包括ケアシステムの構築方針を関係者が共有し意識してもらいたいと思う。	
②	サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている	1	16	3		地域在宅利用者の利用開始時には、状況変化により定期随時の利用が有効となることもあることを説明している。状況変化に対し、ご家族、ケアマネへ定期随時の提案を行っている。	・定期随時に切り替えるケースもありますか？ ・今後も地域在宅利用者へ働きかけをお願いしたい。	
③	安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等(保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等)が行われている (※任意評価項目)	2	15	3		推進会議の場の意見交換を地域との関係づくりとして活用していきたい。 また居宅介護支援事業所や病院への説明会で問題共有を行った。家族介護者不足、訪問での介護者不足、施設を希望する方の増加など地域在宅での生活継続の難しさを実感している。	・周囲に頼れる身内がないという方が増えているように感じる。在宅生活を支えるサービスとして今後もお願いしたい。 ・2025年問題に対処するためにも多職種で更なる連携が進められればと思います。 ・在宅の意向でも環境(介護者都合)が許されず、意図せずに入所になる。特に最近はその傾向を顕著に感じ、定期随時サービスの在り方を考えていく必要があるのではないかと考えている。	

メッツ川崎ヘルパーステーション 令和6年度自己評価・外部評価 評価表

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント	
				実施状況						
				できて いる	ほぼ できて いる	できていない ことが多い	全く できて いない			
Ⅲ 結果評価(Outcome)										
①	サービス導入後の利用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている	10	10			モニタリングでの目標達成状況の把握と、状態変化による計画の変更や見直しの検討を行い目標達成に近付けられるようにしている。	・評価からもモニタリングの見直し等、適切に行えているように感じる。 ・利用者ごとに目標を把握し達成状況を確認していると思う。 ・その人らしく生活できるその人の目標を職員で把握し、状況確認が行われているから、適切に計画の見直しができており、自己評価の結果も高くなっていると感じました。	
②	在宅生活の継続に対する安心感	34	サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている	6	13	1		定期訪問に加え、随時訪問を多く行うことで安心感があると感じてもらっている。利用者の移行に寄り添い生活の質の向上につなげられるよう、定期随時の良い点を知ってもらい信頼関係を築いていきたい。	・定期訪問の他に随時訪問ができるだけでも利用者にとっては安心できる材料になっていると感じる。 ・利用者の状態に合わせて随時訪問を細かく入っていて訪問回数が多いことが印象的。安心感は得られていると思う。 ・緊急時や必要な時に連絡する先があることは利用者にとって安心につながっていると思います。一人ひとり状況は違うとは思いますが、随時訪問で多いのはどのような内容ですか？	